

2020年度 施設関係者評価委員会 議事録

日時：2021年2月16日 14:00～15:00

評価委員出席者：赤澤淳子（福山大学人間文化学部教授）・平木滋子（瀬戸内不動産鑑定役員）・
青野篤子（同囑託アドバイザー）

園側出席者：甲斐弘美（こどもえんつくし園長）・土井美知子（同副園長）

場所：こどもえんつくし フォレスタ ダイニングホール

資料：こどもえんつくし教育・保育課程、つくしガイドブック、在園児数の資料、
事前にHPをみておいていただくよう依頼

議題：教育・保育の評価

議事内容：

1. 園長挨拶

2. 委員長の選出

委員の互選により、赤澤淳子氏を委員長（議長）に選出した。

3. 議事内容

以下の項目について各委員の意見を求めた。主要な意見とそれに対する園長等園側のコメントは下記通りである。

(1) 教育・保育全般について（教育・保育の目標、教育・保育内容など）

- ICTを活用した保育・教育はどの程度取り入れているか。小学校との接続は考えているか。
→ 管理システムはすでに導入しているが、現状の保育・教育はゆとりがなく、ICTの活用は進んでいない。今後は専門家の力も借りて進めていきたい。
- 園外活動や運動はどの程度行っているか。
→ 園庭が狭いなどの制約があり十分できていない。ダンスの先生が月に2回、年長に教えに来られている。

(2) 教職員について（子どもへの接し方、仕事の様子、職員の連携など）

とくに意見はなかった。

(3) 子どもについて（表情や活動性、子ども同士の関係、集団のまとまりなど）

とくに意見はなかった。

(4) 園内・園をとりまく環境について（園の施設・設備・園庭、園の周辺など）

- フォレスタは様々な活動に利用できるのではないか。
→ 利用方法を考えていきたい。

(5) 地域・保護者との連携について（地域開放、貢献、地域住民・保護者の評価など）

- 福山大学子どもステーションとの連携を維持し、ホームページでもリンクをはってほしい。
→ そのようにしたい。
- 園の様子を画像で家庭に知らせることなども検討したらよいのではないか。
→ 検討を進めたい。
- 園児の確保のためにも魅力の発信に努めてほしい

→ そのように努力したい。

(6) ホームページ

- デザイン性にも富み目を引くが、入園手続きや保育時間などに関する詳しい情報がない。
 - ニュースとブログの重複、写真が多すぎる、リンクがないなど改善が必要。
 - コロナ対策に関する情報がない。
 - 肖像権の観点から人物写真には留意してほしい。
 - 1 ページの画面が長すぎる。
 - 年間行事は月ごとに分けた方がわかりやすい。
- 次回の更新の際に意見を参考に改善に努めたい。

2020年度 保護者会役員会による園評価アンケート 集計結果

1. アンケート実施日と回収率

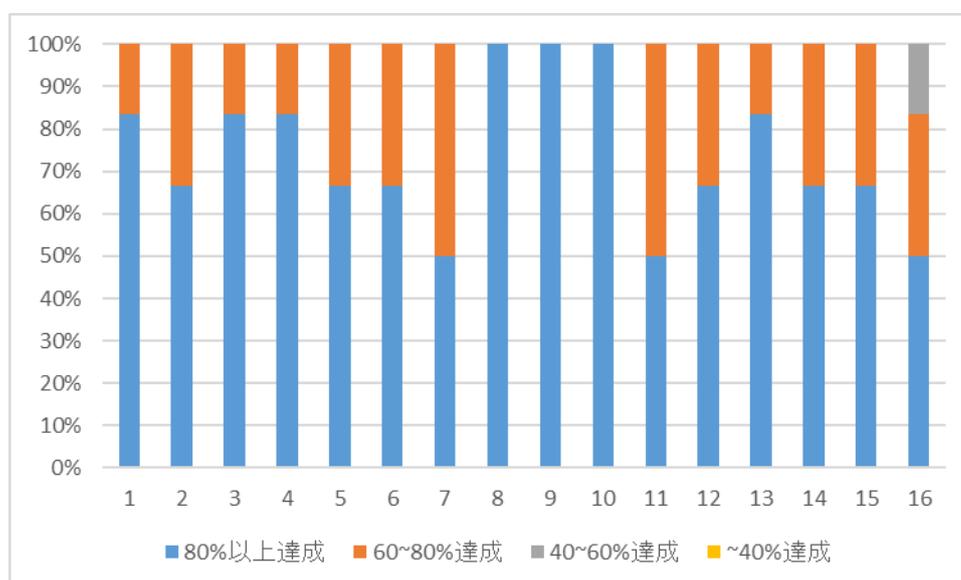
実施日：2021年2月17日（水） 保護者会本部役員会にて

回収率：100%（6／6）

2. 集計結果

	評価項目	A	B	C	D
1	子どもたちは園に行くのを楽しみに登園している	5	1		
2	園の保育・教育活動について共感できる	4	2		
3	子どもたちの年齢に応じた自立心を促す活動がなされている	5	1		
4	子どもたちの年齢に応じた言葉や思考力が育まれている	5	1		
5	子どもたちは落ち着いて集団生活をしている	4	2		
6	さまざまな経験を通して,自然・環境・社会への興味が育まれている	4	2		
7	子どもたちが音楽や芸術に親しむ機会が設けられている	3	3		
8	子どもたちが安全に過ごせるよう防犯対策や避難訓練がなされている	6			
9	子どもたちが健康に過ごせるよう園の清掃や環境整備がなされている	6			
10	保育・教育の一環として給食・食育の充実が図られている	6			
11	職員は日々自己研鑽や研修に努めている	3	3		
12	職員は保護者とのコミュニケーションを大切にしている	4		2	
13	園はコンプライアンス(法令順守)を重視し社会への説明責任を果たしている	5	1		
14	園は地域の小学校や他園との交流を行っている	4	2		
15	園は地域の子育て支援活動の一翼を担っている	4	2		
16	園は教育・保育目標や活動内容についてホームページ等で保護者や社会に伝えている	3	2	1	

評価基準 A:達成度 80%～ B:達成度 60～80% C:達成度 40～60% D:～40%



<自由記述欄>

- 今年度はコロナ禍の中、行事の開催をぎりぎりまでご検討くださり、可能な限りまた形を変えて行ってくださったこと、大変感謝しています。また HP でなかなか見れない園の様子を拝見できるので、いつも楽しみにしています。保護者同士の交流の機会が減ってしまっているのも、保護者会としても、さらに発信していけるように努めます（保護者会行事やマナー等について）。